

環境省による調査項目削減の点検 (群馬県庁ヒアリング関係③)

1. ホットライン (縦割り110番) 要望「重複した調査が来て回答負担が大きい」

国から都道府県に対する調査において重複がないか確認

2. 群馬県庁 (直轄チームに職員を派遣) へのヒアリング

- (1) 農水省及び厚労省の調査で重複等を確認 (8件) →4/23, 5/28会見で統合等の方針公表済
- (2) 今回、環境省と国土交通省の地盤沈下に関する調査で重複を確認
同調査は、環境省の調査項目が非常に多く、作業負担が大きい (EXCELで48シート)

環境省と国土交通省に対応を要請

3. 回答 (次頁参照)

- (1) 環境省が国土交通省からデータ共有を受けることで重複項目を削減。
- (2) 環境省は他の調査項目についても自主点検し、調査項目を大幅削減。

→ 48シート中 国交省から共有1、利用状況を踏まえ削除17、変更時のみ回答6 → **5割削減**

4. 環境省による調査項目削減の自主点検

今回の指摘を踏まえ、**環境省は他の調査も自主点検を実施** (利用状況踏まえた調査項目の必要性、重複の確認)

※直轄チームに職員を派遣している群馬県庁及び高知県庁にも協力いただく予定

※上記の見直しについては、各府省にも情報提供、類似の事例については見直すよう要請。

環境省と国土交通省による都道府県への業務調査

環境省は国土交通省からデータ共有を受けることにより、一部回答を不要とする



凡例	シート数	割合
国土交通省からデータ共有を受けることにより一部の県について回答内容を縮減する項目	1	2.1%
削除する項目(更新・変更の場合に回答)	6	12.5%
削除する項目	17	35.4%
調査継続する項目	24	50.0%
合計	48	100.0%

調査項目
1-1. 主な水準点における過去10年の沈下量経年変化
1-2. 代表的な観測井における過去10年の地下水水位経年変化
1-3. 地盤沈下地域の面積
1-4. 水位低下等による被害の状況
総括表 1 主要地域の地盤沈下等の状況(市町村別内訳)
2-1. 地盤沈下監視体制(水準測量)
2-2. 地盤沈下監視体制(観測井戸数)
3-1. 関連制度の種類
3-2. 関連制度の経緯及び改定等の内容
3-3. 関連制度の内容(法律)
3-4. 関連制度の内容(条例)
3-5. 関連制度の内容(要綱)
3-6. 関連制度の内容(その他)
4-1. 地下水採取量の用途別削減量
4-2. 合理化施策による地下水採取削減量
4-3. 代替水対策による地下水採取削減量
4-4. 地盤沈下対策事業及び調査事業費の推移
4-5. 地盤沈下対策事業(代替水事業)の内容
4-6. 地盤沈下対策事業(防災事業等)の内容
4-7. 調査等事業の内容
4-8. 地下水・地盤環境保全施策の組織
5-1. 工業用水法第3条第1項及び第7条第1項の許可状況
5-2. 工業用水法第5条第2項の適用状況
5-3. 工業用水法第6条第3項に基づく届出書受理状況
5-4. 工業用水法第9条に基づく届出書受理状況
5-5. 工業用水法第10条第3項に基づく届出書受理状況
5-6. 工業用水法第11条に基づく届出書受理状況
5-7. 工業用水法第24条の規定に基づく許可井戸の変更報告状況
5-8. 工業用水法第24条の規定に基づく井戸使用状況報告
5-9. ビル用水法第4条第1項の許可状況
5-10. ビル用水法第4条第3項の適用状況
5-11. ビル用水法第6条第3項に基づく届出書受理状況
5-12. ビル用水法第7条に基づく届出書受理状況
5-13. ビル用水法第8条第3項に基づく届出書受理状況
5-14. ビル用水法第9条に基づく届出書受理状況
5-15. ビル用水法第13条の規定に基づく許可井戸の変更報告状況
5-16. ビル用水法第13条の規定に基づく井戸使用状況報告
6-1. 地区別、用途別、井戸本数及び地下水採取量経年変化
6-2. 地下水採取量等の調査の内容
6-3. 地下水の月別採取量
6-4. 特定用途の地下水採取量(天然ガスかん水)
6-5. 特定用途の地下水採取量(温泉水)
6-6. 特定用途の地下水採取量(農業用水)
6-7. 特定用途の地下水採取量(道路消雪用水)
7-1. 健全な水循環の確保に向けての取組みに関する調査(地下水保全計画等を含む)
7-2. 地盤環境に係る情報システムの整備状況
7-3. 地盤環境に係る情報開示の状況
7-4. アンケート

環境省は点検し、調査項目を5割削減

両省に地下水の水位について報告

1-2 代表的な観測井における過去10年の地下水水位経年変化
地域名 該当なし

観測井名称	1号	2号	
観測井所在地			
観測井標高(T.P.m)			
ストレーナー位置(地表面下深さ)			
所轄機関			
地下水の種類			
設置年度			
既往最低水位			
水位(m)			
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			
平成28年度			
平成29年度			
平成30年度			
令和元年度			

<備考> 水位の説明

提供希望 データ一覧

(○:既に提供しているデータ
●:提供をお願いしたいデータ
【令和2年は可能な範囲でご提供をお願いしたい】)

提供希望	データ一覧	年度																				
		'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	令和2年
地下水採取	年間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月間(もしくは日別)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	年間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月間(もしくは日別)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地盤変動	水準測量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	沈下量別面積	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
観測井諸元	観測井諸元	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	観測井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
観測井	1号	地下水水位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		沈下量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2号	地下水水位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		沈下量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

データを任意の形式で報告。

環境省水・大気環境局土壌環境課
年度
Excel形式
地盤沈下等に関する資料の作成

国土交通省水管理・国土保全局
年度
任意形式
地盤沈下防止等対策要綱検討に関する所
有データの提供
水質資源部水質資源政策課